

第2学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 音楽活動に積極的に取り組むことができる。

○

課題 ▼ 器楽は、感染症対策による経験不足から、技能に課題が見られる。

▼

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 正しい音程で伸び伸びと歌う力
- ◇ 器楽の活動に粘り強く取り組む力

具体的な改善策

- スモールステップの課題を設け、児童の自己肯定感を高める声掛けを行う。
- 感染対策を徹底しながら、個別指導で児童の課題に応じた指導を行う。
-
-

達成目標

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。